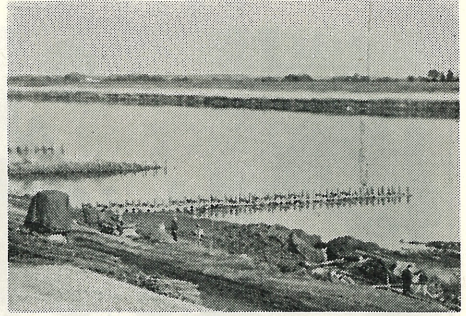




とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和45年4月10日発行 No. 72



第十四分団(第一班)が殊勲の優勝

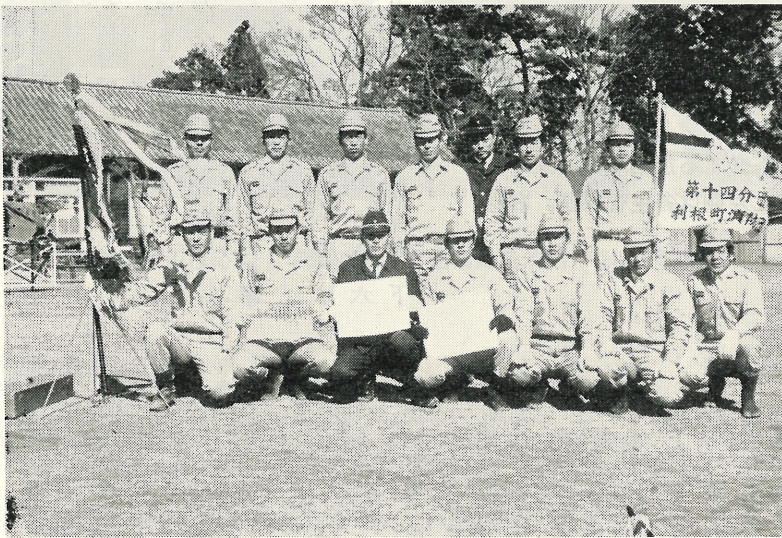
|| 第三回消防ポンプ操法競技大会 ||

第三回利根町消防ポンプ操法競技大会が、三月七日布川教場で、盛大に挙行されました。

この日は、大西風という悪条件にもかかわらず、早朝から町内の全分団が出場し、日

ごろの訓練で身につけた実力を遺憾なく発揮し、各分団とも甲乙つけ難い優秀な成績を納めました。

なお、この日は、町の婦人会の人たちが大会の模様を熱心に見学し、最後に消火器の



写真は、総合優勝及び可搬動力ポンプの部で1位と4位をみごとに獲得した第14分団(押戸・奥山)のチームです。



性能と使いかたについて説明を聞き、その場で消火実験を行ないました。

火事は出火三分以内に消火すれば大事にいたらないという事です。一家に一台必ず消火器を備えるよう心がけましょう。

それでは入賞チームを、次のとおりご紹介いたします。

◎ 総合優勝

第十四分団 第一班(押戸

奥山)

○ 可搬動力ポンプの部

優勝 第十四分団第一班

(押戸・奥山)

二位 第一分団(内宿・浜

宿)

三位 第十五分団(羽中)
四位 第十四分団第二班

(押戸・奥山)

○ 消防ポンプ自動車の部

優勝 役場消防隊(初出場)
下の写真は消火器の実験です。

ウワツ火事だ!というときはあわてずにおちついて、消火器の操作をまちがわぬよう日ごろからの練習もかんじんです。



議会だより

総額二億七千一百二十四万五千元

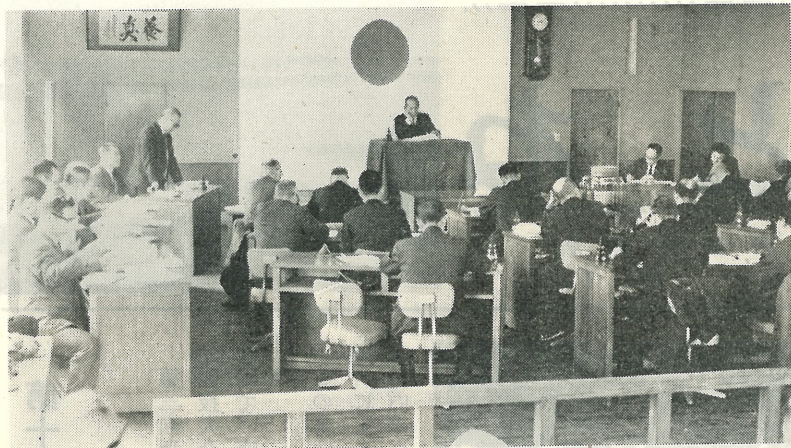
昭和四十五年度一般会計予算決まる

〔町議会第一回定例会〕

昭和四十五年利根町第一回定例会は、三月十八日から同二十八日まで十一日間の会期で開かれ、総額二億七千一百二十四万五千元の四十五年度

一般会計予算など十四件の議案を可決いたしました。

この新年度の予算の中には道路舗装工事費(一千八百六十万円)横須賀下曾根、下



写真は、第一回定例会の総括質疑で答弁する加納町長(立っている)と中央正面が小島議長、向って左側は各主管課長、右側は議会議員。3月23日写す。

曾根(内宿、大房)長曾根)農業構造改善事業費の今年度分(一千四百五十八万円)統合中学校建築工事費の第三期分(二千七百三十四万一千円)利根中学校屋内運動場新築工事費(二千七百六十六万四千円)などが含まれていますが可決された十四件の議案の中から主なものを選んで次にご紹介いたします。

加納町長の重点施策

四十五年度予算編成についての町長の重点施策を要約すると次のとおりです。

- 一、産業の振興
 - 二、教育の向上
 - 三、福祉の増進
- ：以上三本の柱については従来からの基本方針であり、町民各位の熱意あるご協力のもとに、着々とその成果をあげてまいりましたが、ことしこそはその総仕上げともいふべき年にしたいと考えております。

すなわち一、については、

総合農政を推進し、町道の整備をはかる。二、については統合中学校校舎の完成及び屋内運動場の新築とともに、実質統合の促進をはかる。その他公民館活動を普及徹底させ

同時に成人教育も行なう。三、については、老人福祉対策とともに町民全体の健康管理をはかる。ことに国民年金の保険料を納付することが困難なものに対しては、納付に要する資金を貸付け、老後の安定をはかる。

小島議長の要望事項

予算審議に当たっての小島議長の要望事項は次のとおりです。

一、財政の健全化を堅持し、さらに進んで財成構成の合理化を図ること。

二、経常的な経費の節減を図ること。

三、各種補助金については、その団体の性格及び事業の効果を十分に検討すること。

○：昭和四十四年度利根町一般会計補正予算について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四百二十二万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を二億八千四百二十万六千円とする。

補正前の額は、二億七千九百九十八万四千円。

○：昭和四十四年度利根町国保特別会計補正予算について

事業勘定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四

万円を追加し、歳入歳出予算の総額を五千二百八十九万四千円とする。

補正前の額は、五千二百八十五万四千円。

直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八千円を増額し、歳入歳出の総額をそれぞれ一千三百四十八万二千円とする。

補正前の額は、一千三百四十七万四千円。

○：文化じんあい処理組合加入について

地方自治法第二百八十六条第一項の規定により、じんあい処理に関する事務を共同処理するため、昭和四十五年四月一日から文化じんあい処理組合に加入するものとする。

○：利根町国民年金保険料貸付条例について

○：利根町国民年金保険料貸付審査会条例制定について

これは、国民年金法の一部を改正する法律付則第十五条の規定により、国民年金被保険者となった者で、保険料を納付することが困難な者に対し、保険料の納付に要する資金を貸付することにより、住民の福祉の増進に寄与するこ

昭和45年度利根町一般会計予算

(別表)

歳入	(単位千円)
町税	43,644
自動車取得税交付金	3,000
地方交付税	147,000
交通安全対策特別交付金	1
分担金及び負担金	4,311
使用料及び手数料	3,450
国庫支出金	18,063
県支出金	19,069
財産収入	21
寄附金	450
繰越金	15,000
繰上金	2,200
雑収入	1,736
雑債	13,300
歳入合計	271,245

とを目的とする。(この項は一部重複します)
 詳細については、住民課へお問い合わせください。
 ○：昭和四十五年度利根町一般会計予算について
 議会はまず三月十八日に上程された予算案に対し、加納町長の企図する重点施策が予算内容に適切に組まれているかどうかを検討し、さらに小島議長の予算審議にあたっての要望事項に基づき、十一日間にわたり、自宅審議や総括質疑(注)三月二十三日の総括質疑は区長会の皆さんの傍聴する中で行なわれましたが各議員の質疑のうち主なものは、町道舗装の問題や統合中学校完成に伴う通学路の整備の問題、はたまた新設県道の件あるいは屋内運動場や校庭

の整備についてなどでした。)を通じては各常任委員会が、それぞれの分野で慎重に審議を重ね議案最終日の三月二十八日に修正の手が加えられ、昭和四十五年度利根町一般会計予算はみだしのとおり万場一致で決定いたしました。歳入及び歳出については別表のとおりです。
 〽おことわり〽この議会だよりの続きは、来月号でお知らせいたします。

地方自治用語の解説

【歳入歳出予算】

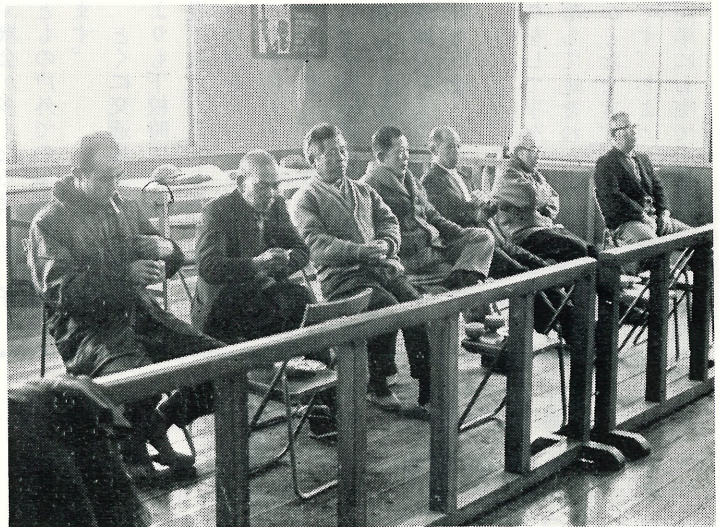
一 会計年度の歳入歳出の見積もりまたは予定のことで、議会の議決を経て定められる予算の本体であり、予算の最も重要な部分をなしている。一 会計年度における収入支出

【地方交付税】

は、すべて、この歳入歳出予算に編入しなければならない。歳入予算は、単なる見積もりであって、歳入そのものは別の法令の根拠にしたがって収入されるのであり、予算を超過して収入してもさしつかえない。
 これに対して、歳出予算はそれによって支出の権限を執行機関に与えるものであり、執行機関は、予算をこえて支出することはできない。

普通地方公共団体の自主性を尊重しつつ、これに財源を賦与し、財源の均衡化を図りもって行政水準の維持向上を確保するために、地方交付税法の定めるところにより、国から普通地方公共団体に配分

される交付金である。その総額は、国税である所得税、法人税、酒税のそれぞれ



写真は第一回定例会を傍聴する区長会の皆さん。

(3月23日写す)

歳出	(単位千円)
会議費	7,442
総務費	51,100
民生費	25,112
衛生費	13,607
生産費	29,703
林業費	700
水産業費	36,179
工業費	8,630
土木費	88,779
防衛費	6,993
教育費	3,000
公営施設費	
予備費	
歳出合計	271,245

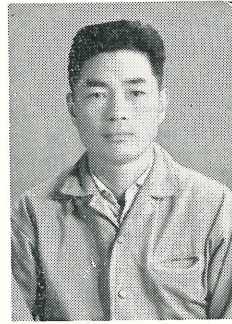
れ32%であり、総額の94%は普通交付税、6%は特別交付税として交付される。前者は所定の計算方式によって算出された基準財政需要額が、基準財政収入額をこえる団体に對してその財源不足額に應じて配分され、後者は特殊の行政需要に對して交付される。交付税は地方団体の一般財源となるものである。

家庭教育学級に参加して

忙しい父親であっても

学級生 中村喜七

〔文間小〕



尊敬の念の少なくなっていることでも、これは学校教育だけでとりもどせることではないということ。というのは、その下地はすでに家庭にあるからだということです。

わたくしは、今までPTAなどの会合は、ほとんど女房まかせで、自分の仕事の忙しさにかまけて、ついついごぶさたしていました。去年からPTAの役員になり、必要出席するようになりました。そこへちやうど、家庭教育学級が開設されましたので、たいいていの仕事は都合をつけて出席しているわけです。そして講師の先生がたのお話、学級生の話し合いに参加し、ほんとうに出るたびにいい勉強になったと感じながら帰るのです。

また、今の若い人に共通してみられる瞬間の快楽を求めた、マイホーム的な考えかた、打算的なところ、根性の弱さなど、欠陥として表われてきたのを反省すると、第一に家庭では、幼児のうちいきびしく、しつけなければならぬ時に、過保護であったこと。第二に学校では、つめこみ主義的で、あたたかみのある先生と子どもの対話がなくなってきたこと。第三におとなの姿勢のぐらつきや社会の混乱から自由とかつて気ままな区別がなくなつて社会が教育する面が少なくなつたためだと聞きました。

同じような青年に育っていくだろうと考えられます。これでは困ります。どうしても、いくらかでもよい方向にもっていきたいものです。それには「自分の子だけを考へてもだめ」で、「全部が同じ方向にいく」ことがたいせつであると思うのです。そのように「みんなで考へ、みんなのために学習する」ことが、ひいては「自分の子どもをよくする」ことに通じると考へます。そう考へた時「家庭教育学級」のようにみんなが学習する場が開設されるということはほんとうにありがたいと思ふのです。

その点、二年間勉強して心さびしく思ったことです。いづれにしましても、このような学習は、これから欠かせないものでしょうし、またぜひ積極的にやってみていくべきものだと思ひます。いちはおは二年間のくぎりがあるそうですから、これからは自発的に取り組んでいきたいと願つて、わたくしのつたない感想の発表を終わります。

子どもの事故

四月になると急に戸外で遊ぶ機会が多くなるせいか、子どもの戸外での事故が目立ちます。

- 土地改良区の
総代決まる
- 豊田新利根土地改良区の
総代選挙は、去る3月17日
行なわれ、後記のとおり新
総代が決まりました。(第
四区以外は無投票当選)
- この選挙は、豊田及び新
利根上流両土地改良区合併
後をはじめて行なわれたもの
で、新しい事務所は河内村
源清田一、九三六番地(旧
河内村役場)と決まりました
たのでお知らせいたします
新総代の御活躍を御期待
申し上げます。
- 第一区(文間地区) 定数 四
- 上原 欽治(立 木)
 - 吉浜 正治(立 木)
 - 中村松治郎(大 房)
 - 高野 良(押 戸)
- 第二区(東文間) 定数 五
- 杉野 正一(加納新田)
 - 勝村 米蔵(惣新田)
 - 岩戸 義男(立 崎)
 - 押田 良一(福 木)
 - 片岡三千男(羽 中)
- 第三区(文地区) 定数 三
- 岩井 喜造(横須賀)
 - 鈴木 力(上曾根)

青年会だより

会員募集!!

利根町青年団協議会では、現在の組織をさらに大きく発展させるために、ぜひ皆様がたの人会をお待ちしております。

若い時はとかく孤独に走りがちです。そこでなにごとくか地区委員まで申し込んでください。また後記のとおり、入会希望者は、近くの会員



写真は布川横町のT字路の交通安全標識を清掃中の隊員です。

新旧会員の顔合わせ(総会)を行ないますのでぜひ出席してください。さるようお願いいたします。

日時 4月19日午前9時から午後4時まで。

場所 立木円明寺内福祉センター。

当日の会費二百五十円(昼食代) 青年会会費二百円(年間)

交通安全青年隊

活動中

去る三月一日(日曜日)県下いっせいにカーブミラー、交通安全標識等の清掃を目的として活動を開始しました。今回は、青年隊の編成後、はじめての活動で参加者25名が6台の車に分乗して利根町全域にわたって活動しました。今後は講習会、カーブミラー等の清掃などを中心に活動していきたいと思えます。

交通安全青年隊とは?

茨城県が「交通安全県」を宣言した機会に、県協が県に提唱して県下加盟青年団に、交通安全青年隊を普及させようと43年度から編成しているものです。

43年度は、土浦、美野里、竜ヶ崎など10市町村に指名活動し、44年度は利根町も伊奈村などとともに10市町村のなかまにはいったわけです。そして今回、20市町村の青年隊が統一行動を行なうことになったわけです。

社会教育週間

四月二十九日

五月五日

「社会教育週間」は、四月二十九日の「天皇誕生日」に始まり、五月三日の「憲法記念日」をはさんで、五月五日の「子どもの日」に終わりますが、この一週間は、これらの記念日に関連する有意義な催しが行なわれます。また、社会教育に関する講演会、子どもつどい、郷土文化の展示その他、レクリエーションなど、いろいろな行事がありますので、これらの行事をこの週間に集中し、教育の向上と社会道義の高揚、子どもの愛育と健全なレクリエーションの奨励などに役立てるとともに民主政治に対する正しい理解を深めようというのが、この週間のねらいです。

星野 謙(下井) 第四区(布川地区) 定数 三 高橋 光雄(谷原) 大貫 房雄(内宿) 吉野 政信(下柳宿)

切手趣味週間

四月二十日~二十六日

四月二十日の「通信記念日」にちなんで、全日本郵便切手普及協会主催、郵政省後援のもとに、四月二十日から一週間「切手趣味週間」が開催されます。

わが国の郵便制度がいわゆる「飛脚制度」から郵便切手による「新式郵便」を採用したのが、明治四年四月二十日のことで、この日から「書状賃錢切手」と称して四十八文・百文・二百文・五百文の四種類(俗に竜切手とよばれています)が発行されました。これを記念して週間に郵便切手収集趣味を普及しあわせて郵便事業の周知徹底をはかるうとするもので切手展の開催、記念切手の発売、記念スタンプの使用などの行事が行なわれます

